

司書部第4地区 夏期研修会 平成25年8月19日(月) 於 今宮工科高校
大谷中学校・高等学校 図書室
司書教諭 樋田道男(といだみちお)

「読書マラソンについて」

ねらい：読書活動の推進と啓発

経過：平成25年度に入り、担当教員(司書教諭・係教諭・教務部長)間で実施について意見交換し新年度準備の職員会議で教職員へ案内をする。

4月下旬に全校の生徒・教職員に向け案内を配布し、終礼時に放送案内する。

実施要領：まず一冊を読んで(又は、4月1日からこれまでに読んだ本について)、報告書(図1)を提出することで選手登録しスタート。

読書の対象はコミック・雑誌以外の図書。

図書室の本・家にある本・他で借りた本・買った本を対象とする。

フル(42^{キロ})、ハーフ(20^{キロ})、クォーター(10^{キロ})、スタータ(5^{キロ})の4コースから目標を設定して走破を目指す。

受付は図書室カウンターの専用トレー。

経過については、定期的に掲示板にて報告。(図A)

読書マラソン通信の発行。(別紙2参照)

参加賞：コースの完走時に認定証(図2)を発行。

参加者全員に参加賞(内容未定)。

フル・ハーフの完走者には別に記念品を予定(内容未定)。

年度末に報告書の記録を冊子として返却する(図3)。

現況：参加総数 29名 7/31現在

コース別 フル・・・21名 ハーフ・・・4名 クォーター・・・2名 スタータ・・・2名

学年別 中一・・・6名 中二・・・5名 中三・・・10名

高1・・・1名 高2・・・4名 高3・・・1名 先生・・・2名

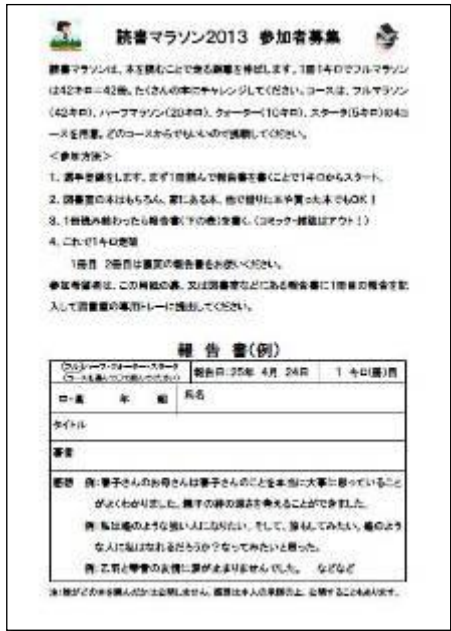
フルコース完走者2名(リピート挑戦中)

ハーフ完走者2名→1名フルコースへ

スタータ完走者2名→1名リピート・1名クォーターへ

課題：

- ・参加方法について・・・報告書のあり方(感想記入の是非)
- ・記録(報告書の管理)・・・経過の公表・処理が手間にならないか
- ・報告書の公開の仕方・・・公開の意思確認と公表の是非
- ・参加賞や記念品・・・金券類ではない何が良いか
- ・参加者の人数・・・少数のままか、クラス、学年規模の実戦に向けていくか
- ・読まれている本・・・ライトノベルが多数の現場から幅広いジャンルの読書へ
- ・その他・・・登録者以外の多読者の取込みと差別化の有無



表



図1

裏

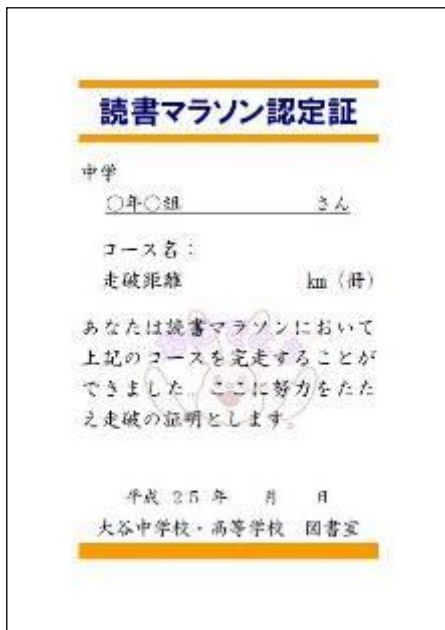


図2



図3



(図A)